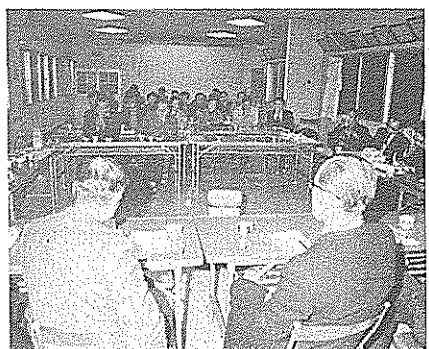


# 遅鈍な市街化 急がれる街路



スッポリ日本をおおった寒気のなか、後免町公民館の「市政懇談会」は開かれ、「明るく、豊かな暮らしよい町づくりのための市政に……」という門田館長のあいさつのもと、地元の高島市議会議員の司会ですめられ、小笠原市長は「中味のある話し合い……」と対話の姿勢とその所信を述べ、国沢助役から財政、都市計画、広域下水道、阿佐線建設など具体的に行政報告をしたのち、熱のこもった対話が行われました。

## 駐車場の設置 明るい町に

量販店の規制や駐車場の設置など後免商店街の振興策は、……  
 ▼南国ボウル跡への大型量販店の進出は一応止められ、その後の動きははっきりしないが、食堂をかねたみやげ店といった話を聞く。許可権限は知事だが都計上の問題もあり、量販店への許可はしないと思う。  
 ▼舟入川にふたをして駐車場にすることは、隣接する民家との問題や河川管理の問題などがある。そ

## なんとかしたい学力とマナー

小笠原市長は先に先だつて、「▼市政の柱で息長く、地道に取り組まねばならないのは同和問題だ、虚心だん慢の気持ちで一度に数十の要求でなく、本当にできる、少し困難だが努力すればできる」というものから、うますため努力をつづけてゆく、……▼財政再建は限られた期間の中の問題で、職員や市民の協力を得、いまものと

## 土地代と街路 宅地化を阻害

隣接の野市町やほかの市と比べて発展の度合が低く、宅地化が遅れている。人口第一の都市といながら町自体は貧弱だ。人口の増加策は、……  
 ▼三百二十ヘクタールの市街化区域は県下の他市とくらべて一番狭く、その区域内にはまだかなりの農地が残されていることから、ことし行われる都計の見直しは微調整にとどまり、市街化区域の拡大は不可能な見通しである。しかも区域内の農地の所有者が農地を宅地に手放さないこと、土地代が高知市並み高いこと、安い土地は市街化調整区域や専用農地などきびしい規制があり、おそれられ宅地化ができないことから、よそからせつかくきたても土地が手に入りにくいということもあり、他の市町村にくらべて発展しないという結果になっている。なお、都市計画街路のないことも宅地化を阻害しているが、早急に整備することは困難だ。また、区画整備事業は土地の減少の問題から行き詰っているが、幹線街路はいつか



# 市所の廃止は 市の決断に

また、二月二十四日午後八時、浜改田公民館において支所廃止の話し合いをすすめる「市政報告会」が地元の要請により開かれ、小笠原市長、田岡収入役、企画財政、市民課長らを地元民二十一人余りが囲み、熱心に話し合いました。

これからの市政に一つの転換を求める財政再建審議会の答申に四支所の廃止の問題があります。  
 この答申を受け、市は順次支所廃止問題を検討すべく、その手はじめとして昨年末に、三和支所管内の前浜、稲生、三和の三地区公民館で、「市政報告会」をかねた支所廃止の話し合いをもちましたが、とくに住民の要請により、こんどの浜改田公民館での「市政報告会」となりました。

## 望まれる 市民サービスの徹底

支所廃止の問題  
 「前浜地区」は、支所のみではすべての要件がすまない、支所へゆくことはかえって不便だ。遠い久枝が本庁へ行き不満もない。これを機会に支所は全廃すべきだ。しかし、本庁は職員の対応が悪い、市民の駐車場の確保、市の中心に向って交通網の整備と改善を要望し、「むしろ積極的な廃止論」。「稲生地区」は、「三和支所があれば近い」という点はいが、要件によってすべてが整わない点はない

は実施しなければならぬものだ。  
 ▼市税の振り替え納税制度は検討している。  
 そのほか、教育、福祉、下水道などについて話し合いました。

また、今回の「浜改田地区」でも同じ意見が出され、「旧郡役所の庁舎で歴史的なものだと支所の存続を求める声が強く、行政サイドでなく、市民サイドで考えるべきだ。現在地でないならば、むしろ浜改田へ支所をもってきて  
 市は、「市政報告会」のこうした関係住民の声を参考に検討を加え、五十二年度に支所廃止の線路踏み出すの、老朽化改築を要する三和支所の存廃が他支所へ波及することから、市が決断をするかどうか、注目されています。  
 なお、こうした市民との対話によって、コミュニケーションを深める機会を多くとの要望に対し、小笠原市長は「できる限り話し合いの機会をつくらせたい」と積極的な姿勢を示しました。

